

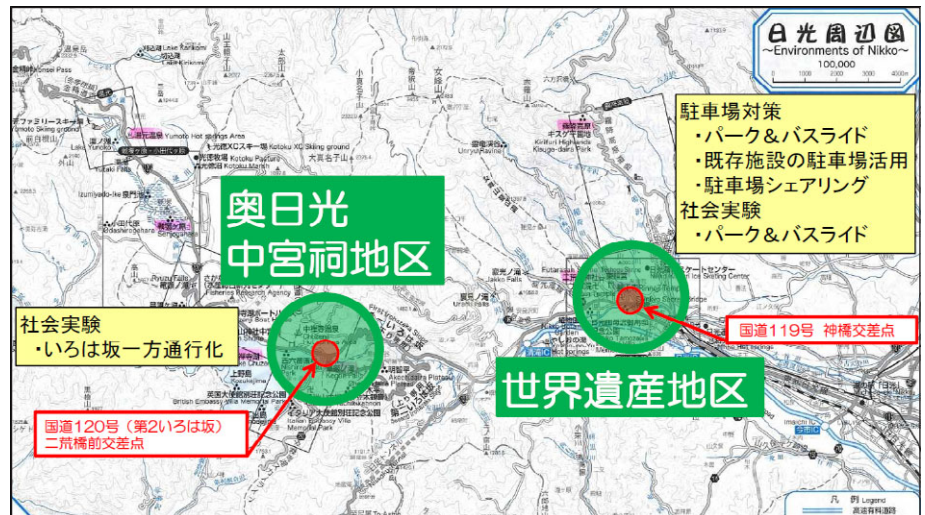
国際観光都市「NIKKO」における 渋滞対策について

栃木県日光土木事務所 企画調査課

1 はじめに

国際観光都市日光は、国立公園などの雄大な自然環境や世界遺産「日光の社寺」に代表される歴史・文化資源を豊富に有し、国際観光都市として多くの観光客が訪れています。近年、平成の大修理を終えた陽明門の公開や、インバウンド誘客の効果、さらに昨年春のDCキャンペーンにより訪問客が増えており、観光要所周辺では交通渋滞の頻度や規模が拡大しています。なかでも、世界遺産地区では二社一寺（日光東照宮・日光二荒山神社・日光山輪王寺）へ向かう観光客が集中するため、国道119号神橋交差点を先頭に日光宇都宮道路日光ICまで上下線において約L = 2.5kmにわたる激しい交通渋滞が頻発しています。

また、奥日光の玄関口である中宮祠地区にある華嚴の滝や中禅寺湖に向かう第2いろは坂（国道120号）に、紅葉時期には約L = 10kmにもおよぶ渋滞が発生しています。これらの交通渋滞は、観光地としての魅力低下を招くとともに、地域生活にも支障をきたしていることから、交通渋滞の解消に向けて、日光市や関係機関のみならず民間企業や地元住民を交えて連携を図りながら、実行可能な対策を機動的に実施しているところです。



【代表的な渋滞箇所】



【国道119号神橋を先頭とする渋滞】

2 世界遺産周辺の駐車場対策

世界遺産地区においては、地域内の駐車場の容量不足が交通渋滞の最大の要因となっています。そこで、日光市と連携して臨時駐車場を設置しました。

1) 臨時駐車場の設置状況

- ①日光霧降スケートセンター駐車場（パーク&バスライド） 駐車容量 680台

日光市が平成 28 年度から、無料シャトルバスを運行し実施

②栃木県日光土木事務所職員駐車場の閉庁日開放 駐車容量 71 台

栃木県が平成 29 年度から、職員による庁舎トイレの一般開放と併せて実施

③日光砂防事務所職員駐車場の閉庁日開放 駐車容量 57 台

平成 30 年度から日光市が実施

④日光小学校駐車場 駐車容量 160 台
平成 30 年度から日光市が砂防事務所を借りて実施



2) 平成 30 年度の臨時駐車場利用結果

【臨時駐車場の配置】

各臨時駐車場の利用状況は、連休の並びや天候等に大きく影響されますが、昨年度の最大の利用日となったゴールデンウィークの 5 月 4・5 日には 1,000 台を超える利用がありました。これは、二社一寺が運営している駐車場の利用台数約 4,000 台に対し、その 25% を超える車両を収容したことになります。この臨時駐車場の設置により、周辺道路の渋滞緩和に大きく貢献しました。

今後は、さらに臨時駐車場を確保すべく、日光砂防事務所・日光市と連携し、大谷川堆砂敷を利用した臨時駐車場の整備を進めていきます。同時に、臨時駐車場利用者や路線バスの定時運行を確保するための道路網整備計画を検討していきます。

平成 30 年春の臨時駐車場利用数 (9 日間)

(駐車場容量)	霧降 P&R 680 台	日光土木 71 台	合計 968 台	
4 月 28 日	土	56	11	67
4 月 29 日	日	558	95	653
4 月 30 日	月・祝	179	25	204
5 月 1 日	火	116	-	116
5 月 2 日	水	123	-	123
5 月 3 日	木・祝	248	35	283
5 月 4 日	金・祝	1,560	140	1,700
5 月 5 日	土・祝	908	109	1,017
5 月 6 日	日	44	10	54
計		3,178	425	3,603

平成 30 年秋の臨時駐車場利用数 (6 日間)

(駐車場容量)	霧降 P&R 680 台	日光土木 71 台	日光砂防 57 台	日光小 160 台	合計 968 台
10 月 27 日	土	-	5	17	22
10 月 28 日	日	-	55	167	238
11 月 3 日	土・祝	563	47	-	610
11 月 4 日	日	258	58	-	316
11 月 10 日	土	199	26	-	225
11 月 11 日	日	391	83	-	474
計		1,411	274	184	1,885



【土木事務所駐車場開放状況】

3) 既存施設の活用

周辺民有地に祝休日に利用されていない駐車場や空き地が、2,000台相当分存在することを調査により確認しました。これらを活用するため地元企業や振興会、日光市に民間の駐車場シェアリングサイトを紹介し、その推進を図りました。民間の駐車場予約サービス「akippa」(利用者がパソコンやスマートフォンから駐車場を予約する)を利用し、平成30年4月から登録を開始して、現在は10箇所87台が登録されています。事前予約が可能なのが周知されていけば、利用者は飛躍的に増えるものと予想されます。

この取組が地域全体に拡大すれば、渋滞対策の大きな一手となるとともに、徒歩による周遊観光の促進に貢献するものと考えています。



【空き地を造成した駐車場】

3. 平成30年度 社会実験について

1) 清滝地区パーク&バスライド

(1) 実施概要

多くの観光客が日光宇都宮道路日光ICで降りて国道119号に入り、世界遺産地区へ向かうため、神橋交差点を起点に最大L = 6kmにもわたる激しい交通渋滞が発生しています。

この交通渋滞の集中を緩和するため、日光ICから一つ先の清滝ICに迂回させ、臨時駐車場を設



置し、路線バスを用いたパーク&バスライド社会実験を行いました。

・期 間 平成 30 年 4 月 28 日（土）～5 月 6 日（日）9 日間

・駐 車 場 民間の未利用敷地 容量 300 台

社会実験に先立ち、実施区間の一部区間（約 1.1km）を 2 車線から 3 車線に再配分することによって、バス優先レーンを設け、円滑なバス運行を確保しました。また、路線バスの東武バス日光株式会社との協力により、割引チケットの発行や循環バスを増便していただき、IC を一つ乗り越す分の有料道路料金を栃木県道路公社と連携して、日光 IC と同一料金としました（通常 150 円を 100 円に割引）。

(2) 社会実験の結果

9 日間で 89 台、225 人の利用がありました。実施効果は、最も混雑した 5 月 4 日に国道 119 号日光 IC から神橋交差点まで 2 時間 33 分かかったのに対し、社会実験利用では 35 分で神橋交差点に到着でき、約 2 時間の時間短縮が図られました。実験参加者からは、「渋滞に巻き込まれず快適に利用できた」、「渋滞緩和が期待できる」といった声が聞かれ好評を博しました。



【3車線化後の通行状況】

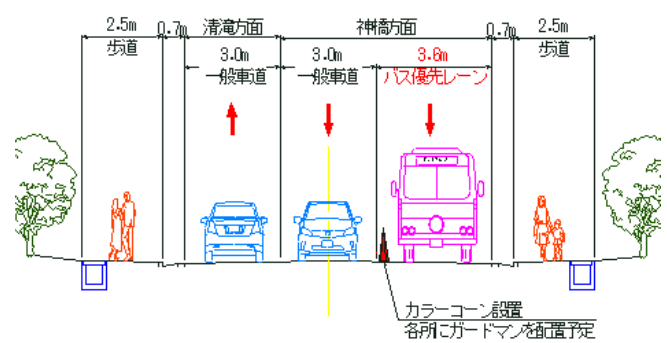


【バス優先レーンを走行する路線バス】

(3) バス優先レーンについて

バス優先レーン設置により当該区間の渋滞を回避でき、定時運行が実証できたことから、その有効性が証明されました。路線バス運行者からは、大変感謝されました。

その一方で、二車線を三車線に再配分したことに、地元住民から「幅員構成の変更に戸惑がある」、「安全性や沿道利用に問題が生じている」、「設置区間が短く効果が少ない」等の意見が寄せられ、今後渋滞対策を行うにあつての安全対策や実施範囲等の検討課題も明らかになりました。



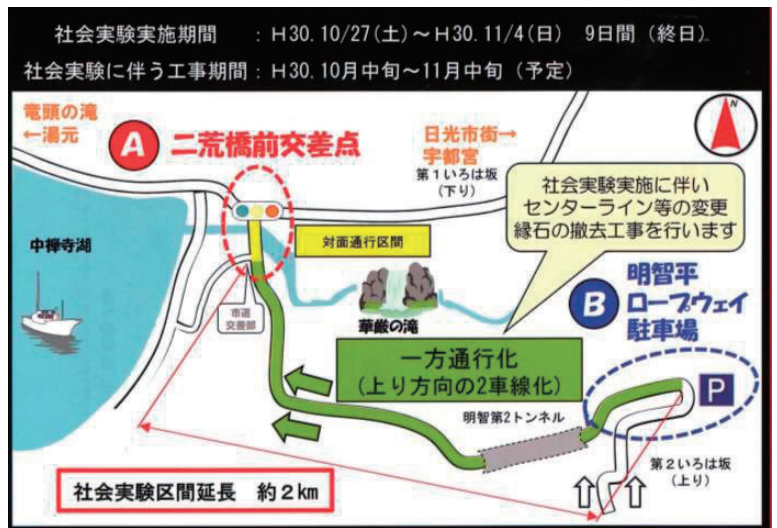
2) 第 2 いろは坂の一方通行化社会実験

(1) 実施概要

華厳の滝駐車場の容量不足から先詰まりによる渋滞が発生しています。特に紅葉時期には、第 2 いろは坂の通過に 2 時間以上かかる渋滞が度々発生しています。このため、日光市と協働で、平成 20 年度から様々な社会実験を繰り返し、今年度は第 2 いろは坂「全線一方通行化」を実施しました。一

方通行を行うため、規制・案内標識、区画線の修正や、案内看板を事前に設置して現地周知を図りました。また、地元自治会や宿泊施設、関係事業者への協力依頼や、チラシ・ポスター・報道（地元紙への掲載、ラジオ・テレビによる発信）により、地元だけではなく広く周知を行いました。

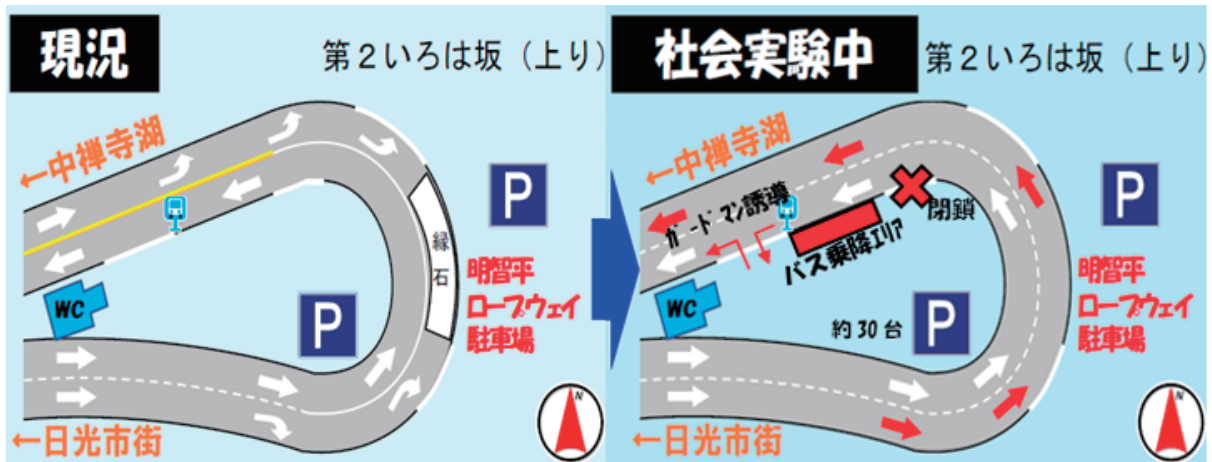
- ・ 期間 平成30年10月27日（土）～11月4日（日）9日間（終日）
- ・ 区間 明智平から二荒橋前交差点手前まで約2km区間



【一方通行化社会実験の概要図】

(2) 明智平駐車場の対応

実験当初、民営明智平ロープウェイ駐車場（右側）と県駐車場（左側）への入庫待ち車両が両車線を塞いでしまい渋滞が拡大する現象が確認されたため、県営駐車場の出入口を調整し入庫待ち車両の整理を行いました。あわせて、路線バス停車位置の調整やバス乗降者用スペース確保を行うことで、駐車場利用者とバス乗降客の分離を図り、乗降客の安全を図りました。実験を行う中で、課題が見えたところについては、臨機に対応することで、渋滞を解消させることができました。



【県営明智平駐車場の状況】



【バス乗降スペースを確保】

(3) 社会実験の結果

一方通行化により、華嚴の滝方面に向かう右折車両と中禅寺湖に向かう左折車両を分離できたことと、県営明智平駐車場出入口調整により入庫待車両と通過車両の分離ができたことにより、渋滞長は7.2km から2.1km に減少し、通過時間が約1時間50分短縮されました。

これらの通過時間が短くなることで、県営明智平駐車場のトイレ利用者も減り好循環が生まれました。また、マイカーによる観光客だけではなく、増加が著しい外国人観光客が利用する路線バスの定時制や緊急車両のスムーズな通過も確保することができました。

この実験結果を受けて、来年度早々に県営明智平駐車場にバスベイを設置するとともに、駐車場レイアウトを再配置し、快適で安全に利用できるように改修を進める予定です。併せて第2いろは坂の渋滞対策の要となる「通年一方通行化」実現に向けて、関係機関や地元関係者との調整を進めていきます。



【華嚴の滝駐車場目指す右折車両は渋滞するが、中禅寺湖を目指す左折側は通過できる】



【ロープウェイ駐車場を目指す第1レーンは渋滞するが、第2レーンは通過できる】

4. おわりに

国際観光都市日光の渋滞対策は、厳しい地形的制約や環境保全、観光振興等への配慮も求められており、非常に難度の高い課題であります。そして、渋滞は一つの方法だけで解決するものではありません。今後とも、渋滞緩和を目指して、日光市や地元関係者との連携を図り、地域一体となって少しずつでも実行可能な対策に取り組んでまいります。

最後に、今回の社会実験にあたり、御指導と御協力をいただきました関係者と地域の皆様に心からお礼申し上げます。



【いろは坂の紅葉と渋滞】